

# 2016年8月3～6日；四日市東日本大震災支援の会 第35回派遣 三重県教育委員会「学校防災ボランティア事業」 宮城県東松島市・福島県葛尾村 支援活動の報告

2016年8月8日 四日市東日本大震災支援の会 代表 鬼頭浩文

近い将来、南海トラフ地震の発生が危惧される三重県では、県内中高生が自らの命を守り抜くことに加え、支援者となる視点から安全で安心な社会づくりに貢献する知識や能力を習得することが求められています。三重県教委は、県内中高生が、宮城県の被災地を訪問し、被災地の方々との交流や心のケア等を含めたボランティア活動、現地中高生と防災合同学習を行うことなどにより、大規模な自然災害発生時に地域で自ら行動できる防災人材の育成に取り組む本事業を実施しました。支援の会は、大学生リーダーとして、企画立案、班指導にあたりました。

## <活動場所>

- 矢本運動公園仮設住宅
- 宮城県多賀城高校 ほか

## ★参加費等

移動・宿泊・講師料などの経費は県教委が負担、食事・土産は自己負担

## ★参加者 50名

三重県内の中高生 36名、四日市大学学生 4名、四日市大学教員 1名、四日市看護医療大学学生 1名、三重大学学生 1名、中高教員 5名、県教委職員 2名

## <スケジュール概要>

### ■8月3日(水)

7:30: 制服集合・伊勢発⇒8:30 県庁集合で出発式⇒宮城へ  
移動中に映像&テキストで研修  
津波のしくみと被害/災害ボランティア活動/防災士の役割  
民宿山根で入浴&宿泊&朝食

### ■8月4日(木)

旧野蒜駅視察(高校生語り部による講話)  
矢本仮設自治会会長の案内で女川地域医療センター⇒旧大川小学校の視察  
午後; 多賀城まち歩き⇒多賀城高校で交流ワークショップ(HUG)  
⇒元気の湯で入浴  
⇒矢本運動公園仮設住宅で自治会の皆さんと夕食懇親会  
⇒もと石巻西高校校長・現東北大学教授の斎藤先生の講和  
⇒振り返りのミーティング⇒集会所で宿泊

### ■8月5日(金)

朝食はポリ袋炊飯訓練⇒流しそうめん準備⇒告知の戸別訪問  
昼; 矢本運動公園仮設住宅で大流しそうめん交流会  
<中学生>門脇中学で交流会  
<高校生>高校生語り部2名の講話、北村親子の講話  
⇒日光市・石巻西高校生徒との交流  
<中学生・高校生合流>  
日光・宮城・三重の中高生&仮設住宅の皆さんによるBBQ交流会  
⇒入浴⇒振り返り学習⇒仮設住宅集会所で宿泊

### ■8月6日(土)

5:45: 大型バス出発⇒福島県富岡町視察(語り部さんの案内で)  
10:00: 現地出発  
バス車内学習(地震のしくみと被害/被害想定とハザードマップ/災害医療  
振り返り発表会⇒四日市大学帰着(解散式)⇒三重県庁⇒伊勢庁舎

■活動の記録



三重県庁 出発式



多賀城 まち歩き



多賀城高校 HUG で交流



東松島市の高校生語り部による講話



多賀城高校での記念撮影